



調印を交わし、より強力な連携関係で復興に進みます

復興に向け、強力なタッグを

国立大学法人熊本大学と町が連携協定を締結

うらかな春の日差しに包まれた4月12日、秋津川沿いにある「ましきラボ」で「益城町と国立大学法人熊本大学との平成28年熊本地震からの復興に係る包括的連携協定調印式」が行われました。

今回の連携協定は、町への同大学の災害復旧支援、学生ボランティア活動などの実績を踏まえ、さらなる協力体制の強化を目的に締結されたものです。

原田信志^{ほらだしんじ}熊本大学長は「地元^{ほらだしんじ}に根差した大学として、密着しながら復興に協力していきたい」と話しました。

献身的な活動に消防庁長官表彰

町消防団が町長に報告

3月24日、平成28年熊本地震における消防団の献身的な救助活動や避難誘導に対して贈られた消防庁長官表彰の報告が町長室で行われました。

本田寛^{ほんたかん}団長(当時)は、「町のためと思い必死にやっただけですが、こうやって表彰されると励みになります」と話し、西村町長は「消防団がいなければ、たいへんなことになっていました」と感謝しました。また、女性消防団や消防団間の応援体制づくりなどを含めたさらなる防災体制の強化についても意見を交わしました。



西村町長と、表彰状を掲げる消防団幹部たち



表彰を受けた奥村淑子さん



宮本みつをさんとご家族

おめでとうございます 百歳表彰

下砥川の奥村淑子さん・安永2町内の宮本みつをさん

100歳の誕生日を迎えた奥村淑子さん(大正6年4月10日生)と、宮本みつをさん(大正6年4月19日生)が百歳表彰を受けました。

4月19日、西村町長から表彰状と敬老祝い金を受け取った二人は、感謝の言葉を述べ、長寿の秘訣について「好き嫌いなく食事をしっかり噛んで食べること」(奥村さん)、「新聞を読むのが楽しみで、何事にも好奇心を持ち続けること」(宮本さん)と元気にはっきりとした口調で話しました。

3月26日、木山仮設団地でお花見が開催されました。お花見に集まったのは、なんと60人。自治会が組織されてから、初めての大きな催し物となりました。敷地内にある、企業から贈呈された桜はまだ咲いていませんでしたが、カラオケや踊りなどが披露され、自分たちで持ち寄ったごちそうに舌鼓を打ち、少し早い春を皆さん楽しんでいました。



Pickup Plus
今月のプラス+